

令和6年度学校経営計画書

学校名 三次市立小童小学校

校長名 高下 美恵

I 学校の状況

学級数	4	児童数	8	教職員数	8
メールアドレス	hichi-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.hichi-e.hiroshima-c.ed.jp				

II 学校教育目標

～ふるさとを誇りに思い、自らの未来を切り拓いていく小童っ子の育成～
「考動（考えて動く）」

【甲奴中学校区小中一貫教育目標】ふるさと甲奴を誇りに思い、自ら未来を切り拓いていく子供の育成

III 使命・存在意義（ミッション）

- ・個の可能性を伸ばし、自分の夢や思いを達成できる児童を育成する。
- ・グローバルな視点を持ち、協調・協働して生きていくことができる力を育成する。
- ・甲奴中学校区コミュニティ・スクールとして小中一貫教育を推進し、保護者・地域とともにある学校づくり・児童の育成を図る。

めざす学校像(ビジョン) 一人一人を大切にし、すべての児童の学力を向上させる学校

めざす資質・能力 ①課題発見解決力 ②コミュニケーション能力 ③乗り越える力

め ざ す 子 ど も 像	進んで学ぶ子 (課題発見解決力)	自分で課題を立て、解決に向けて情報を集め、分析したり表現したりできる子
	かかわりあう子 (コミュニケーション能力)	対話を通し、自分の考えを深め、広げることができる子
	乗り越える子 (乗り越える力)	進んで課題に取り組み、粘り強く最後までやり抜くことができる子

IV 重点事項（努力点）

(1) 一人一人の学力向上

- ① 小童小スタンダード（課題発見解決型複式スタイル＋ユニバーサルデザインの授業づくり）の徹底と対話力の向上
- ② 特別支援教育の充実や個別最適な学びの推進（ICTの活用等）

(2) 小中一貫教育の推進（保・小・中の連携、主体的な学びを促す授業の創造）

- ① 地域と連携した生活科・総合的な学習の時間における探究的な学習
- ② 地域等と連携した異文化間協働活動
- ③ 三次で一番の挨拶・返事をめざし、表現する力の育成

(3) コミュニティ・スクールの推進

V 中心価値・行動規範

教育の原点「子どもたちは、私たちの姿を見て育ちます」

- 私たちは、教育的愛情と使命感を持ち、一人一人を伸ばします。
- 私たちは、危機管理を徹底し、子どもを守ります。
- 私たちは、認め合い、励まし合い、協働して職務を遂行します。
- 私たちは、保護者・地域と連携・協力して、子どもの未来を築きます。

VI 現状分析

1 学校の内外環境分析

外部環境	<p>○（支援的要因）</p> <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然と歴史的的文化財・福祉施設・文化施設など教育素材に恵まれている。 ・学校教育やP T A活動へ協力的である。 ・学習発表会や運動会などでは、音響、照明設備をボランティアで設置してくださる。 ・町あげての教育的行事（アメリカス市との交流活動・お山の学校等）の体制が整っている。 ・図書館車の巡回や読み語りなど読書環境が充実している。 ・地域で放課後子ども教室を運営し、入会している児童が多い。 <p>【教育行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保小中連携 ・兼務発令（音楽・外国語） ・学校を支援するための予算（理科支援） ・甲奴学校給食調理場では地域食材を使用し、安全で美味しく、児童にとって楽しい給食になるよう工夫している。 	<p>S（強み）</p> <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全児童を把握し、個に対応した指導ができる。 ・全職員が全児童に指導できる場がある。 ・全職員が意識統一し、組織的な取組ができる。 ・少人数を生かし、工夫して行事や教育活動ができる。 ・体育館での運動遊びが可能。 ・臨機応変な対応ができ、機動力がある。 ・小中一貫教育や外国語教育の積み上げがある。 <p>【児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り活動が多く、上級生が下級生の世話をし、異年齢で協力できる。 ・複式授業（小童小スタンダード）が定着している。 ・素直で優しい児童が多い。 ・落ち着いて学習する。 ・決まりを守り、掃除や当番活動をきちんと行う。 ・1年からタブレットを活用しオンライン授業ができる。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動やP T A活動に対して協力的である。 	内部環境	<p>●複式の授業改善</p> <p>①小童小スタンダード（U D化＋課題発見解決型複式授業）の充実</p> <p>●個別最適な学び</p> <p>①ドリルタイム・パワーアップタイム</p> <p>②ICT機器の活用等</p> <p>●甲奴小中一貫教育の推進及びコミュニティ・スクールの推進</p> <p>①主体的な学びを促す授業の創造</p> <p>②地域等と連携した異文化間協働活動の充実（アメリカス市との交流をゴールとした外国語活動の単元化）</p> <p>③地域と連携した生活科・総合的な学習の時間における探究学習の充実</p>
	<p>T（阻害的要因）</p> <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が進み、戸数に対して児童数が少ない。 ・児童のいない地域が多く、校区を知らない児童や児童を知らない地域が増えている。 ・地域に店が少ない。 <p>【教育予算関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キュービクルがないため、ランチルーム等、特別教室のエアコンが設置できない。 ・限られた予算により、必要な備品や老朽化している放送機器等の修繕、買い替えが困難である。 	<p>W（弱み）</p> <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が少なく、一人当たりの仕事が多い。 ・職員の出張等が多くあると組織的遂行が困難になる。 <p>【児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで自分の思いを表現できにくい児童が多い。（挨拶・返事も含む） ・支援を要する児童の割合が多い。 ・新たなことに挑戦したり、自ら行動し、課題を解決したりする児童が少ない。 ・外遊びが少なく、体力に課題がある。 ・休日のメディア視聴に課題がある。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの関わり方に困り感がある保護者がいる。 ・家庭数が少なく、PTA活動等保護者の負担が大きい。 		<p>●特別支援教育の推進</p> <p>①ユニバーサルデザイン の授業づくり</p> <p>②個に応じた支援</p> <p>●思いを表現させる場面設定</p> <p>①対話力を高める授業づくり</p> <p>②挨拶・返事の奨励</p> <p>③発表朝会</p> <p>④児童会・委員会活動</p> <p>⑤感想発表</p> <p>●体力づくり・健康づくり</p> <p>①外遊び等の奨励</p> <p>②チャレンジタイム</p> <p>③生活振り返り習慣等</p> <p>●自己肯定感を高める</p> <p>①個に応じた目標をやりきらせて評価する。</p> <p>●働き方改革の推進</p>

Ⅶ 中期経営目標及び短期経営目標（令和6年度）

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	
確かな学力	一人一人の学力の向上	基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> ○小童小スタンダード（課題発見解決型複式スタイル、UD）の授業展開や、対話力を高める取組により考えを深める授業づくりを進める。 ○特別支援教育の充実を図る。 ○ICTを活用する等個別最適な学びを推進する。 	教務部
		主体的な学びの充実（小中一貫教育）	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語科、外国語活動、英語活動における主体的な学習を進めるための授業実践を充実させる。 ○生活科・総合的な学習の時間を中心に探究的な学習の充実を図る。 	
豊かな心	人間関係力の育成	自分の考えを表現する力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶・返事を奨励し、その成果を評価する。 ○みんなの前で話す機会を多く設定したり、友だちのことを考えて行動する場を意図的に作ったりする。 	生活保健部
健やかな体	体力の向上・健康の保持増進	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○外遊び・全校遊びを奨励する。 ○業間を活用して、短距離走やなわとび、持久走などに取り組むチャレンジタイムを実施し、走力や持久力、跳躍力を高める。 	
		健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○「生活振り返り週間」の取組を、甲奴中学校区と合わせて実施する。また事前と事後に保健指導を行い、生活習慣の定着を図る。 ○トークデーと併せたノーメディアデーを毎月実施し、家庭と連携した生活習慣への意識の統一を図る。 	
信頼される学校	信頼され地域とつながる学校	家庭・地域と連携・協働した教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティ・スクールを基盤とし、地域・保護者と連携・協働して教育活動を推進する。 	総務部
		働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○業務改善の徹底や組織を意識した協働による働き方改革を推進する 	